

第75期(中間期) 株主通信

2010年4月1日-2010年9月30日



目次

- P1 ごあいさつ
- P2 事業概況
- P5 連結財務諸表
- P6 ~特集~
日本国内における生薬栽培
- P8 “がん領域における漢方”
- P9 知っておきたい漢方知識
- P10 会社の概要・株式の状況

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第75期(2010年4月1日～2011年3月31日)は、「漢方・生薬事業に特化した新たなステージの展開」と位置付けた、中期3ヵ年経営計画の2年目ではありますが、第2四半期を終え、個々の施策は計画に対し着実に進捗しているものと考えております。

医療現場におきましては、現在、さまざまな領域の疾患に漢方治療が取り入れられており、当社の医療用漢方製剤は「数量」ベースで129処方中114処方が前年同期を上回りました。引き続き、「漢方医学の確立」に向けたさまざまな支援活動や、医療用漢方製剤のエビデンスの確立を目指した「育薬の推進」などの諸施策に鋭意取り組んでまいります。

また、当社は安全な生薬を安定的に確保するために、医療用漢方製剤の長期的な需要予測に基づき、国内外での生薬栽培の拡大、生薬保管倉庫の増設などについて、中長期的な計画を立案しております。主要な調達国である中国におきましては、安定確保のため長期栽培契約の拡大を継続して進めております。さらに、2008、2009年に続き、本年も12月1日(水)に中国深圳市にて、中国産地会社の役職員など約100名と当社役員とが一堂に会し、「ツムラ中国協力会」を開催いたしました。当社は、今後も継続的に中国産地会社との協力・信頼関係を築いてまいります。

当社は第2四半期決算と同時に、配当につきまして増額修正の発表を行いました。中間配当および期末配当をそれぞれ、1株当たり26円の予想に対して2円増額して28円とし、年間配当を52円の予想に対して4円増額して56円といたしました。



代表取締役社長
芳井 順一

当社では、株主様に対する利益還元を会社の重要な政策と考え、今後も事業の継続的な成長を目指し、設備投資や毎期の業績、配当性向などをふまえ、増配を基調に安定配当を実施していく方針です。

株主の皆様におかれましては、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

事業概況

1 経営方針

当社は、「自然と健康を科学する」という経営理念の下、「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを目標として掲げております。

この目標を実現するため、「漢方・生薬」への重点化と集中化を進め、漢方メーカーであることの独自性を最大限に活かし、医療の分野で確固とした地位を築いてまいります。

当社は昨年5月、漢方・生薬事業を通じ、「社会や人々のお役に立てる企業」「人に優しい企業」であることを、事業を行ううえでの基本基調といたしました。

自然の恵みである生薬の栽培を起点とした循環型事業サイクルの確立を目指す企業として、今後も自然環境や地域社会との共生に経営の重点を置くことはもちろん、障がい者の方々にさらに積極的に雇用し、より働きやすい職場環境を提供してまいります。

2 業績のポイント

① 連結業績

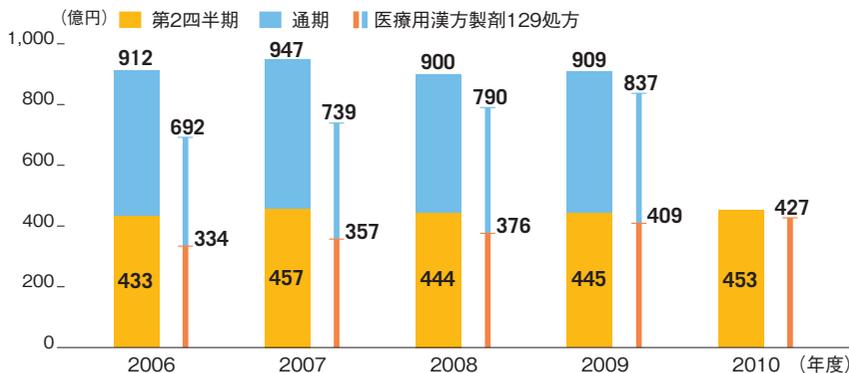
当第2四半期連結累計期間(2010年4月1日から2010年9月30日まで)の売上高は、前年同期に比べ1.9%増の453億7千5百万円となりました。利益につきましては、営業利益98億1千1百万円(前同比9.5%増)、経常利益98億1千8百万円(前同比10.9%増)、四半期純利益59億1千3百万円(前同比15.7%増)となりました。

医療用漢方製剤が数量ベースで8.8%伸長したことに加え、業務の効率化に取り組んできたこと等により売上原価率および売上高販管費率が改善し、利益につきましては昨年を上回る状況で推移いたしました。

(単位:百万円)

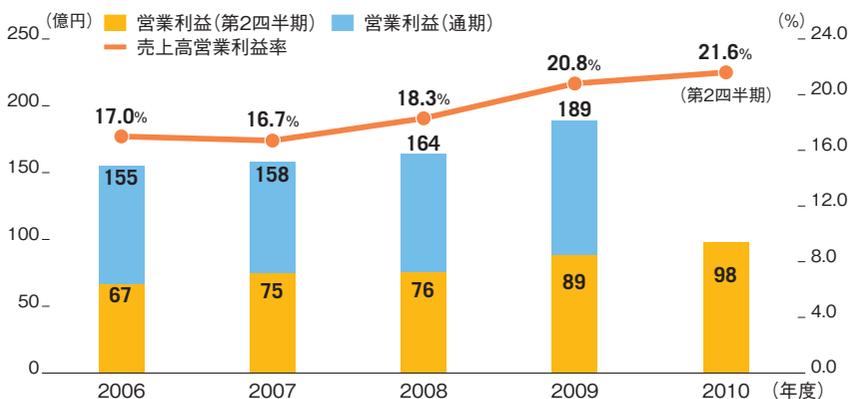
区 分	前第2四半期 (2009年度)	当第2四半期 (2010年度)	増減額	前同比 (%)
売 上 高	44,522	45,375	853	1.9
営 業 利 益	8,961	9,811	850	9.5
経 常 利 益	8,851	9,818	966	10.9
四 半 期 純 利 益	5,111	5,913	802	15.7
医 療 用 漢 方 製 剤 129処方売上高合計	40,939	42,757	1,817	4.4

売上高



2008年度には、ツムラライフサイエンス株式会社の株式譲渡、また、医療用外用抗菌剤「アスタット」の製造販売権を譲渡しております。

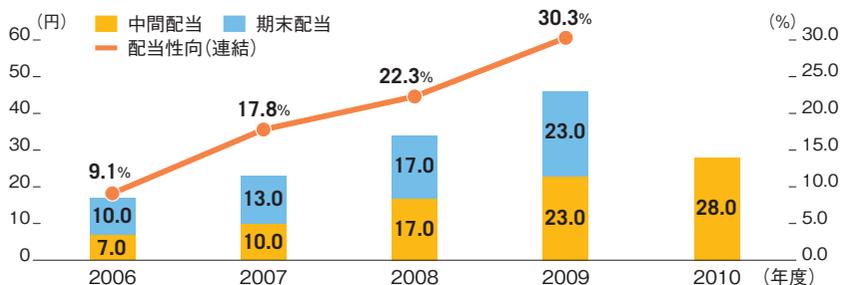
営業利益／売上高営業利益率



② 配当について

2011年3月期中間配当金を2010年5月13日公表の1株当たり26円の予想から2円増額し、28円といたします。また、期末配当予想も同様に2円増額し、28円といたします。

配当金の推移



③医療用漢方製剤の概況

当社におきましては、医療用漢方製剤を通じて「漢方医学と西洋医学の融合により世界で類のない最高の医療提供に貢献する」ことを目標として掲げており、そのために「2009～2011年度中期経営計画(連結)」において、6つの具体的な活動目標を設定して、その達成に向けて積極的な取り組みを展開しております。

「漢方医学の確立」に向けたさまざまな支援活動や、医療用漢方製剤のエビデンス(科学的根拠)の確立を目指した「育薬の推進」などを通じて、医療用漢方製剤が持続的に伸長していくための「仕組み」を構築してまいりました。また、この仕組みの下、大病院、臨床研修指定病院、開業医、調剤薬局など各医療機関のニーズに合わせた情報提供活動を行ってまいりました。

その結果、さまざまな領域の疾患に漢方治療が取り入れられるようになり、薬価引き下げの影響を受けながらも、「金額」ベースで129処方中87処方が前年同期の売上高を上回り、医療用漢方製剤の売上高は前年同期に比べ4.4%伸長いたしました。

特に育薬処方である「大建中湯」「六君子湯」「抑肝散」につきましては、各種臨床研究とその効果を裏付ける基礎研究が進み、エビデンスが確立されつつあることから、3処方合わせた売上高は前年同期に比べ14.2%伸長しており、医療用漢方製剤の売上増加に引き続き牽引的な役割を果たしております。「牛車腎気丸」「半夏瀉心湯」の2処方につきましても、エビデンスの確立を目指して、積極的な育薬推進活動を展開しております。

■医療用漢方製剤 売上高上位10処方

(単位:百万円)

	前第2四半期 (2009年度)	当第2四半期 (2010年度)	増減額	前同比 (%)
1. 大建中湯 (だいけんちゅうとう)	3,625	3,889	264	7.3
2. 補中益気湯 (ほちゅうえっきとう)	3,051	3,109	58	1.9
3. 六君子湯 (りっくんしとう)	2,133	2,481	347	16.3
4. 抑肝散 (よくかんさん)	1,448	1,856	408	28.2
5. 加味逍遙散 (かみしょうようさん)	1,761	1,807	46	2.6
6. 牛車腎気丸 (ごしゃじんきがん)	1,702	1,748	46	2.7
7. 柴苓湯 (さいれいとう)	1,771	1,730	△41	△2.3
8. 芍薬甘草湯 (しゃやくかんぞうとう)	1,559	1,667	107	6.9
9. 麦門冬湯 (ばくもんどうとう)	1,379	1,551	171	12.4
10. 防風通聖散 (ぼうふうつうしょうさん)	1,183	1,217	34	2.9
医療用漢方製剤129処方合計	40,939	42,757	1,817	4.4

連結財務諸表

◆連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	前期末 2010年3月31日現在	当第2四半期末 2010年9月30日現在
(資産の部)		
I. 流動資産	73,289	73,846
II. 固定資産	61,407	61,175
有形固定資産	40,857	40,361
無形固定資産	307	291
投資その他の資産	20,242	20,522
資産合計	134,697	135,022
(負債の部)		
I. 流動負債	42,171	39,844
II. 固定負債	8,773	8,566
負債合計	50,944	48,411
(純資産の部)		
I. 株主資本	81,790	86,081
資本金	19,487	19,487
資本剰余金	1,940	1,940
利益剰余金	60,744	65,035
自己株式	△ 382	△ 382
II. 評価・換算差額等	1,082	△ 367
その他有価証券評価差額金	364	△ 400
繰延ヘッジ損益	△ 103	△ 642
土地再評価差額金	1,772	1,772
為替換算調整勘定	△ 949	△ 1,096
III. 少数株主持分	879	896
純資産合計	83,752	86,610
負債純資産合計	134,697	135,022

◆連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期 自2010年4月1日 至2010年9月30日
売上高	44,522	45,375
売上原価	14,059	14,017
売上総利益	30,462	31,357
販売費及び一般管理費	21,500	21,545
営業利益	8,961	9,811
営業外収益	343	345
営業外費用	454	339
経常利益	8,851	9,818
特別利益	0	1
特別損失	98	45
税金等調整前四半期純利益	8,753	9,773
法人税等	3,621	3,815
少数株主利益	19	44
四半期純利益	5,111	5,913

◆連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前第2四半期 自2009年4月1日 至2009年9月30日	当第2四半期 自2010年4月1日 至2010年9月30日
I 営業活動による キャッシュ・フロー	4,771	4,474
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 3,029	△ 3,443
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△ 2,511	△ 1,785
IV 現金及び現金同等物 に係る換算差額	26	△ 22
V 現金及び現金同等物 の増加額・減少額(△)	△ 742	△ 777
VI 現金及び現金同等物 の期首残高	14,596	15,381
VII 現金及び現金同等物 の四半期末残高	13,853	14,603

～特集～ 日本国内における生薬栽培

現在、医療用漢方製剤の販売数量は着実に伸長しており、原料である生薬の安定確保は、当社の重要な課題となっております。

そこで、医療用漢方製剤の中長期的な需要予測に基づき、「安全な生薬の安定確保」に努めるべく、国内外での生薬栽培地の拡大、生薬保管倉庫の増設などを進めております。

今号では、日本における生薬栽培地のうち、北海道および高知県での取り組みについてご紹介いたします。

■「株式会社夕張ツムラ」竣工式

北海道は広大な土地があり、機械化による大規模栽培も可能なことから生薬栽培をするうえで効率が良く、そのうえ、1年を通して気温が低く、生薬の保管にも適しており、生薬生産量の増加が期待できます。

北海道夕張市の「株式会社夕張ツムラ(100%子会社)」は、自社農場での生薬栽培と種苗生産や栽培効率化の研究を行うだけでなく、北海道で栽培された生薬を対象に、一次加工と生薬の保管を目的に昨年設立されました。同社の生薬調製工場、保管倉庫(保管能力1,000t)がこのほど完成し、11月1日(月)に竣工式を挙行いたしました。

今回完成した施設は、夕張ツムラ設備投資計画の第1期にあたるものです。今後、第2期・3期と設備投資を段階的に行い、生薬の保管能力は2015年度に3,000tとなる予定です。



夕張ツムラ



生薬畑・センキュウ

■高知県「ヒューマンライフ土佐」における生薬栽培

農事組合法人「ヒューマンライフ土佐」のある越知町は、西日本最高峰の石鎚山^{いしづちさん}に源流を発し、高知県の中央部を流れる清流^{によどがわ}仁淀川の中流域に位置し、中山間地を抱える町です。同町では、栽培に適した山間部の畑などを利用して、長年にわたり当社の生薬栽培に取り組んでいただいています。栽培農家は約250軒あり、ミシマサイコやサンショウなど数種類の生薬について、栽培から収穫後の洗浄や乾燥まで一貫した生産および管理を行っています。

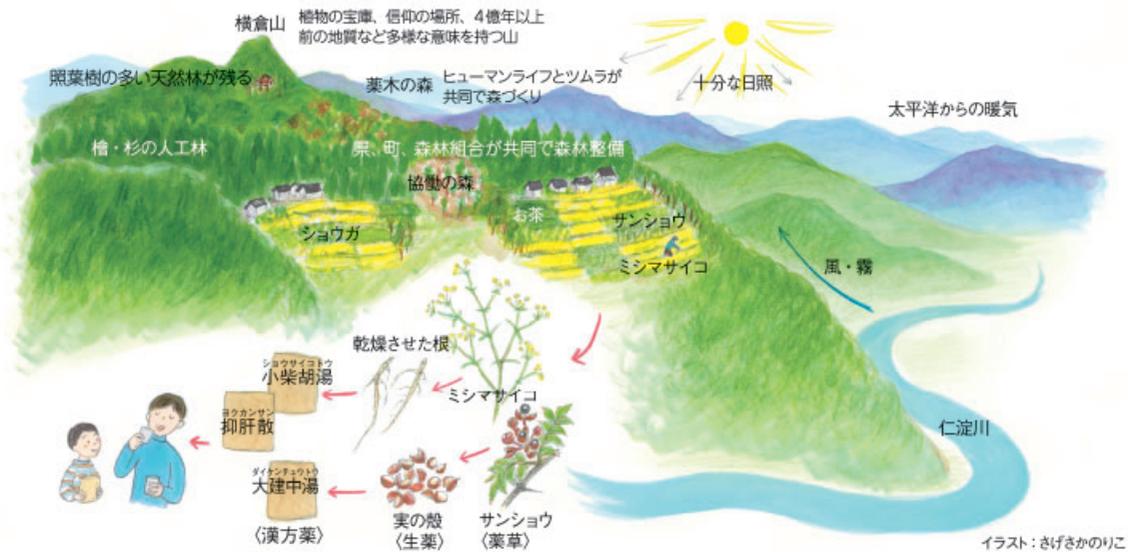
<VOICE> 森とともに生きていく



農事組合法人
ヒューマンライフ土佐
代表理事
片岡 継雄 様

平地が少なく、田畑には向かない土佐の山にも、昔からいろいろな薬草が自生していたことが、江戸時代の記録にも残されています。

私たちの組合とツムラ、越知町、高知県の4者で協定を結んでいる「土佐ツムラの森」では、標高1,000mにもなる厳しい斜面もあり、それぞれ環境に適した、薬草・薬木を植えています。薬草・薬木は厳しい土地でも立派に育ちますし、生薬栽培は高齢者にも十分にやれます。そして、収入も安定することから後継ぎもできます。今、組合では荒れた山を買い足しては薬草・薬木を植えています。一番大切なことはみんなで「いい薬草を作るため、ここで生きていく」と、心をひとつにして取り組んでいることです。



イラスト：さげさかのりこ
(日本自然保護協会 会報「自然保護」No.513より一部転載)

“がん領域における漢方”

現在、がん治療においては、さまざまな新薬開発が進んでいます。一方、抗がん剤の副作用には非常に強いものもあり、がんに対する効果があっても、治療を中止せざるを得ないような場合もあります。

2009年度に新育薬*処方として加わった「牛車腎気丸」や「半夏瀉心湯」は、それぞれ『がん化学療法に伴う副作用(しびれ、下痢・口内炎などの症状)の軽減』を目的とし、現在さまざまな研究を重ねエビデンス(科学的根拠)を集積しております。

本年10月には、がん治療の主要な学会のひとつである日本癌治療学会学術集会のシンポジウムにて「がん化学療法の副作用対策としての漢方治療」と題し、がん領域における漢方製剤の有用性などについて11演題が発表されました。

*育薬:近年の疾病構造を見据え、医療ニーズの高い領域において新薬治療では難渋している疾患で、医療用漢方製剤が特異的に効果を発揮する疾患に的を絞り、エビデンスを確立すること(当社の定義)



育薬処方

■「漢方のお医者さん探し」

ご近所で漢方に詳しい医師を探せるウェブサイトです。



<http://www.gokinjo.co.jp/kampo/index.html>

<ご注意ください>

漢方製剤は、一人ひとりの体質や症状を考慮して処方される薬です。従って、同じ症状・病気でも同じ薬が処方されないこともございます。必ず医師の診察を受け、処方いただいた薬を服用いただきますようお願い申し上げます。

知っておきたい漢方知識

■漢方製剤の構成生薬

漢方製剤は、自然の中にある「生薬」から作られています。西洋薬のように化学的に合成されたものではありません。

「生薬」とは、主に植物の根や皮、葉を加工調製(乾燥など)したもので、ツムラの漢方製剤では、118種類の生薬が使用されています。これらの生薬は処方ごとに決められた割合に基づき配合され、漢方エキスが抽出されています。例えば、「^{りっくんしとう}六君子湯」の構成生薬は下記8種類となっています。



■比較的早期に効果を確認できる処方

漢方製剤には、その効果が確認できるまで一定の期間を要する処方がある一方で、体質や症状に合えば、比較的早期に効果が確認できる処方も複数あります。例えば、足がつる症状(こむら返り)に効果のある「^{しやくやくかんぞうとう}芍薬甘草湯」は、服用後10~30分ほどで効くこともあります。このほか、咳を鎮める「^{ぼくもんどうとう}麦門冬湯」や初期の風邪に効果のある「^{かっこんとう}葛根湯」なども、比較的早期に効果が確認できる処方といえます。

「Kampo view」



・ <http://www.kampo-view.com/>

※当社協賛ウェブサイトの「Kampo view」が全面リニューアルいたしました。漢方の基礎知識など、楽しく学べるサイトとなっています。是非、ご活用ください。

会社の概要・株式の状況 (2010年9月30日現在)

●会社概要

本 社 東京都港区赤坂二丁目17番11号
創 業 1893年(明治26年)4月10日
設 立 1936年(昭和11年)4月25日
資 本 金 194.87億円
従業員数 (単体) 2,267名 (就業人員数)
 (連結) 2,712名 (就業人員数)

●役員

代表取締役社長 芳井 順一
専務取締役 久島 正史
常務取締役 森 善樹
常務取締役 田中 典裕
常務取締役 杉田 亨
取締役 上田 賢示
取締役 荒井 聡
取締役 竹田 秀一
常勤監査役 村山 努
常勤監査役 桑原 耕三
監査役 湯佐 富治 (公認会計士)
監査役 野田 聖子 (弁護士)

●連結子会社

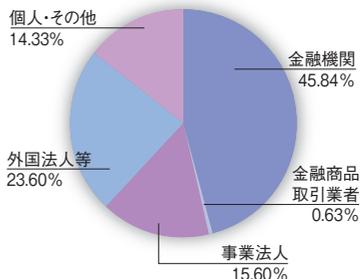
国内 株式会社ロジテムツムラ
 株式会社クリエイティブサービス

海外 深圳津村薬業有限公司
 上海津村製薬有限公司
 TSUMURA USA, INC.

●株式の状況

発行可能株式総数 250,000,000株
発行済株式の総数 70,771,662株
株主数 10,123名

〈所有者別株式数分布状況〉



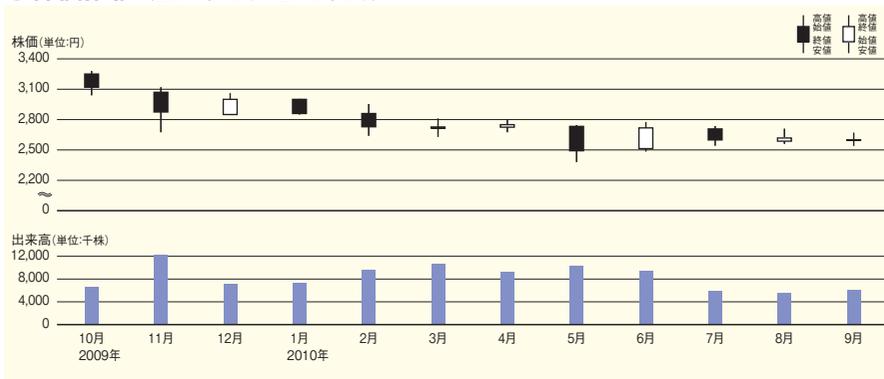
(注)「個人・その他」には、自己株式244,193株を含んでおります。

〈大株主の状況〉

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口)	8,299	11.77
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,879	6.92
日本ラスティサービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,813	3.99
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,697	3.82
ツムラグループ従業員持株会	1,708	2.42
サ ジ ャ ッ プ	1,666	2.36
全国共済農業協同組合連合会	1,582	2.24
第一三共株式会社	1,525	2.16
ガバメント オブ ジンガポール インベストメント コーポレーション ビー リミテッド	1,272	1.80
大日本住友製薬株式会社	1,092	1.55

(注)持株比率は自己株式(244,193株)を控除して計算しております。

●株価推移 (2009年10月~2010年9月)



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領 株主確定日	3月31日
中間配当金受領 株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00 (土日祝日を除く)
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL http://www.tsumura.co.jp/zaimu/index.htm (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店におきましてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主様アンケートご協力をお願い

当社では、株主の皆様のご意見を伺い、今後のIR活動に活かしていきたいと考えております。つきましては、同封のはがき、または、ツムラホームページからアンケートにご協力いただけますようお願いいたします。

ツムラホームページ <http://www.tsumura.co.jp/>



コーポレート・コミュニケーション室 IR推進グループ
〒107-8521 東京都港区赤坂二丁目17番11号
TEL (03) 6361-7101

